

冷凍母乳の園での取り扱いマニュアル

【一般的注意事項】

- ・ 母乳は、さく乳し冷凍して24時間以内のものを日々受けれて取り扱うものとする。
- ・ 母親の健康管理には注意する。
- ・ 病気感染の事故などを防ぐため、本人の冷凍母乳であることを確認し、又、他児に与えることは絶対にしてはならない。
- ・ 細菌感染の危険性があるので、保育者は手指や器具の衛生管理には十分注意する。

【保 管】

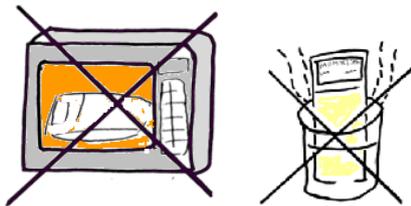
- ① 名前、日時、冷凍状態を確認の上、一日分を受け入れる。
- ② 冷凍に -18°C 以下で保管する。
- ③ 冷蔵庫内の温度上昇を防ぐため、扉の開閉はできるだけ少なくする。

【解凍・保存】

- ④ 授乳直前に自然又は流水で解凍する。母乳に含まれる免疫物質が破壊されるので、熱湯や電子レンジでは解凍しない。



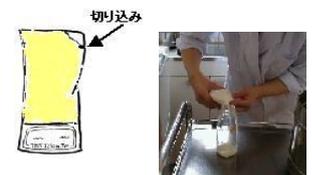
④



①



②③



⑤

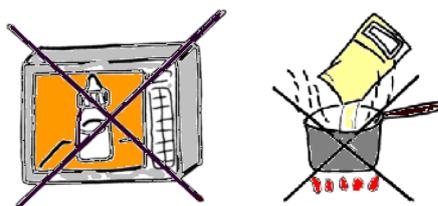
- ⑤ 解凍した母乳は母乳パックの切り込み部分を引き裂いて哺乳瓶にそそぐ。パックに2cc程度残し、冷凍保存する。

【加 温】

- ⑥ 母乳は 40°C ぐらいのお湯で湯煎にかけ、乳児の体温に近い温度に暖める。体温以上には暖めない。



⑥



⑦



【授 乳】

- ⑦ オムツをかえて、手を石鹼など良く洗い授乳する。飲み残しは廃棄処分する。

【出典：保育園子ども給食室！】